

Tama Pla-nning

WISE CITY

WELLNESS・WALKABLE & WORKING
INTELLIGENCE & ICT
SMART・SUSTAINABLE & SAFETY
ECOLOGY・ENERGY & ECONOMY

あの日、あの時、あの帰り道で

トピック

【特集】たまプラ今昔
～たまプラの昔を探る～

「お世話になってます！」
我らたまプラ民のお店！

たまプラでみつけた
キャラクター「たまりー」

2021年4月発行

編集・発行

横浜市・東急株式会社

【連絡先】横浜市建築局住宅再生課

☎045-671-2954

お世話になってます！

Title

我らたまプラ民のお店！

Day

2021.3.31

パンステージ プロローグ



20周年を迎えたまちのパン屋さん。子どもから大人まで幅広い年齢層の方が利用しています。人気のパン商品からプリンや焼き菓子など様々あり、美しが丘にある本店では250種類以上、たまプラ駅前店では150種類以上の商品を販売しています。

たまプラに お店を構えた理由

駅前でお店ができる場所を探していたところ商店街にパン屋がないので入って欲しいという要望を受け店を構えることになりました。

がとても多く魅力的です。桜まつりや夏まつりではテラスでパンやかき氷などを販売しています。また、隣の距離が近く、近所との交流が多いこともよいところですよ。

他の店舗は駅から離れたところにあり「おざおざ買いに行きたくなるお店」をコンセプトにしていたのですが、この店舗は「駅前が気軽に買に行けるお店」をコンセプトにしています。

コロナ禍で
お店はどう変わったか
トング、トレー、台の消毒を徹底し、お客様に安心して購入してもらえるように商品は1つずつ袋に詰めて販売しています。従業員は全員ゴム手袋、マスクを着用し、レジにビニールカーテンをつけています。

商店街のよいところ

まずは色々なお店があるところです。桜まつりや夏まつり、ハロウィン、スタンプラリーなどを開催しておりイベント

消毒などで時間がかかる中、営業時間を短縮していることに加え人通りが減ったことで売り上げは減少しています。

3丁目カフェ



3丁目カフェは多目的スペースです。音楽イベントやピアノの発表会、幼稚園の謝恩会、落語、漫才など色々な目的で利用できます。ふれあい漫オライブではフワちゃんや土佐兄弟も出演したことがあり、お年寄りから子供まで幅広い年齢層の方が利用しています。今年の夏頃までに地域の方々の健康を願ってお地藏さんをお店の前につくる予定です。

たまプラに お店を構えた理由

たまプラ付近でコミュニティスペースをつくりたかったことが理由です。コミュニティスペースをつくることで、地域の方々が知り合うための交流の場をつくることができ、情報交換もすることが出来ます。このようなことを通して、助け合いの社会を目指しています。

ができることもよいところですよ。

商店街の良いところ

都会すぎず、自然もあり、とても居心地が良く落ち着きます。商店街には様々なお店が並んでいるので、地元の人と地元ではない人との交流

コロナ禍で お店はどう変わったか

お客様は5分の1くらいに減ってしまいました。もともとお店はイベントやパーティ、発表会などの利用客が大半を占めていました。例年は月に30回ほどイベントを開催していましたが、現在は月に5回ほどになってしまいました。そんな状況の中でも換気や消毒、加湿器やアクリル板の設置をしっかりとおこない、お客様に安心してご利用頂けるよう対策をしています。

たまプラでみつけたキャラクター「たまりー」



「商店街は、家族と歩くことから始まる」

そんなたまプラ駅前通り商店会の思いが込められている3人家族のキャラクターです（左からお母さん、子ども、お父さん）ぜひたまりーたちをみつけに、商店街を歩いてみてください！

次世代郊外まちづくり
WISE CITY



<http://jisedaikogai.jp/>
Web サイトはこちら



横浜市



SDGs未来都市・横浜



横浜市は2018年6月に、SDGsの達成に向けて優れた取組を提案する都市「SDGs未来都市」と、
 其中で特に先導的な取組をする「自治体SDGsモデル事業」に選定されました。
 「環境を軸に、経済や文化・芸術による新たな価値・賑わいを創出し続ける都市の実現」をビジョンに、
 SDGs未来都市の横浜型大都市モデルに挑戦しています。

次世代郊外まちづくり通信

次世代郊外まちづくり通信は、「次世代郊外まちづくり」のさまざまな活動をお知らせし、地域の皆さまをはじめとして多くの方々に知ってもらうためのニュースです。

元石川高校コラボ特別号

元石川高校2年生の「アントレプレナーシップ講座」をきっかけに、有志が集まった生徒12名とともに制作しています。企画会議ワークショップを経て高校生目線で、アイデアを出し合い、デザインや取材、内容作成まで実施しています。



編集後記

取材することは初めての経験で慣れないことばかりでしたが取材させていただいた方々がとても良い方ばかりでどんな質問にも丁寧に答えてくださり、素敵なお話を聞くことができました。地域の方々と交流する機会が今まであまりなかったのですが、今回の取材などを通して私たちの知らなかったたまプラーザのを知る事ができ、とても貴重な体験でした。より私たちもたまプラーザの魅力を感じることができたので、この通信を通してたまプラーザの魅力をもっとたくさんの方に知ってもらいたいと思いました。



【特集】たまプラー今昔 ～たまプラーの昔を探る～

私たち高校生の親世代・祖父母世代の方に当時のたまプラーザの様子や流行っていたことなどを直接インタビューしてきました。私たちの知らないたまプラーザが明らかに……！



飯島さん

たまプラーザが誕生する前から住んでいらっしゃる飯島さんの高校時代は放送部と応援団に所属していて、楽しい日々を過ごしていたそうです。

Q. 今のたまプラーザとの違いはなんですか？

A. 駅も何もなかったのが今は全く違います。道さえも舗装されていなかったです。だんだんと田舎がでけ、500世帯程だったのが7.8年で1200世帯程にまで増えていきました。

Q. 住み続ける理由は何ですか？

A. 理由というものはあまりないのですが、もともとここで生まれ育ったので他のところには行き

たいと思わないです。

Q. 当時のたまプラーザの雰囲気はどのようなものでしたか？

A. 寂しいという印象です。たまプラーザができたのは50年前なのでまだ何も無い状態でした。当時は人が住んでなく、真ん中が田んぼで、その両サイドが畑、その上が雑木林で、ブルドーザーが山を崩しまちを作っていました。

Q. たまプラーザのどこが好きですか？

A. 治安が良く必要なものが揃っていて住みやすいところです。

Q. 住み続ける理由は何ですか？

A. 特にないですがたまプラーザ近辺で変わっていません。店を出す時にココの物件を見つけました。

Q. 高校生の時と今でたまプラーザの変わった事と変わってない事は

何ですか？

A. まず変わったことは当時信号機が駅前一つしかないくらい交通量が少なかったところや今ある東急は昔広場だったり路線を挟んだ反対側は芝生だったり元石川高校の近くにはBBQ場があったりしたため遊び場がたくさんあったことです。変わってないことは商店街の近くにあるビルが昔からあったことです。



根岸さんご夫妻

生まれた時からずっと荻子田に住んでいらっしゃる根岸さんの現在の荻子田には、2000軒ほど家がありますがなんと24軒だった頃から住んでいらっしやるそうです。

Q. 昔のまちの風景や雰囲気はどのようなものでしたか？

A. 以前は農村地域で畑、山、川、田んぼがあり静かでした。たまプラーザ駅周辺も畑だったので昔の山道が今では道路になりました。昔の荻子田周辺には家が24軒しかなかったため家と家との間隔が広がっていました。牛も放し飼いでいました。

Q. 高校生の時には何を遊んでいましたか？

A. 当時は公園はなく家の広い庭でこま回し、たこあげ、缶蹴り、かくれんぼをしていました。

Q. まちの魅力は何ですか？

A. 地域交流といった、地域の「ま」とまりがあることです。荻子田では10月には神樂、お正月

Q. 当時流行っていたことは何ですか？

A. 文化祭でおどったマイムマイムは印象に残っています。10人ほど並んで背中に文字を描きそれを伝達していくという伝言ゲームはよくやりました。

Q. いつから住んでいるのですか？

A. 生まれ育ったのは南口の鷲神社の近くだったのですが、そこが区画整理で道路ができることになり、土地のあったたまプラーザに移ってきました。

Q. 当時流行っていたことは何ですか？

A. 虫取りやドロー、ため池でのりをする事です。

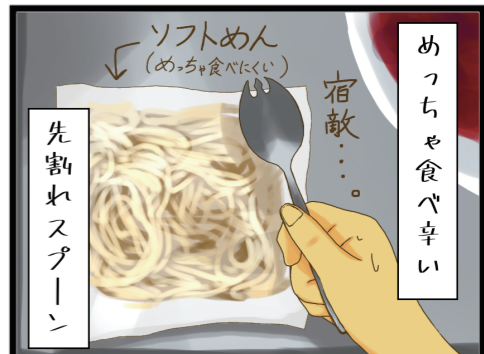
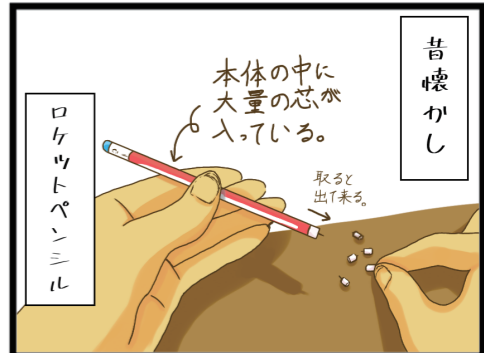
Q. これからも住み続けたいですか？

A. コレからはいいのですがたまプラーザに安心感があるため、もし他に店や家を探してもたまプラーザがベースになると思っています。

Q. 住み続ける理由は何ですか？

A. 住めば都。学校も病院も近くにありとてもいいところだからです。

昭和の学校あるある



には獅子舞が古くから続いています。心を一つにして大人から子どもまで楽しむのはいい伝統だと思います。

